

代表・一般質問

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

【区長】 区のイメージを刷新す



導体制の強化を図っていく。
【教育長】 ②毎年1回、進路指導主任が集まり、キャリア教育に関する研修及び情報交換を行っている。また、生活指導主任が集まる連絡会を通じ、協議を行っている。本格的な連携には、課題もあるが、今後もこうした取り組みに力を入れていく。
【問】 小・中学校の入学式や卒業式は平日に実施されている。どうしても会社を休めず出席できない保護者のために、土日の実施を検討してはどうか。

美しいまちの一層の推進を 災害に強いまちづくりを！

公明党 たがた直昭 議員



足立区議会公明党

足立区をより一層美しいまちにするため、治安対策の取り組みと効果を広く周知し、犯罪を行おうとする者へのプレッシャーをかけたつ、区民の安心感につなげていく、ビューティフル・ウィンドウズ運動のステージアッ



【教育指導】 実施の場合、年度によっては入学式が5日程度遅くなり、授業日数が減少する等、学校運営に影響を与える可能性がある。授業日数の確保とあわせ、地域や保護者の意見を伺う等、研究していきたいと考える。

【問】 26年度予算の新規拡充事業に要する財源は、原則として既存事業の見直しや独自の歳入確保による各部対応等としている。今後、さらなる歳入増加や歳出削減に努めるとのことだが、区民サービスの低下にならないよう取り組むべきではないか。
【政策経営】 今後は消費税増税等の影響が危惧され、収入不安定な状況で無条件の歳出肥大化はできない。このため、拡大す

る行政サービスの領域には、歳入増加・歳出削減とともに、財源の組み替えをしなければ対応できず、その際には、区民に十分な説明を行い、理解を得られるように取り組んでいく。
【問】 国の補助金を活用し設置する災害用電子看板は、平成25年度中に北千住駅東口・西口に7台の予定であるが、今後は、帰宅支援道路となつて国道4号線や墨堤通り周辺にも増設すべきではないか。
また、今後は綾瀬駅周辺にも地元の意向を聞きながら設置を推進すべきと考えるがどうか。

労働単価を即時に引き上げよ

【問】 国土交通省は1月末に労働単価の引き上げを発表した。過日、我が党は区における労働単価引き上げの要望書を区長に提出したが、発表を受け区としても即時に行うべきではないか。
【総務】 今後公告する工事請負契約等は新労働単価を適用する。旧労働単価で積算し2月1日以降契約する工事請負契約等は、新労働単価の特例措置等で適切に対応する予定である。

全額公費で接種時の負担を軽減

【問】 水ぼうそうワクチンは、予防接種法で接種の対象者または、その保護者等に接種の努力義務がある定期接種A類とされる。定期接種A類のワクチンは、ほとんどの自治体で自己負担はない。全額公費の接種を実施すべきと考えるがどうか。
【衛生】 現在、A類疾病の定期予防接種は全額助成をしている。10月より水ぼうそうワクチンが定期接種A類とされることに伴い、従来の対応に準じ、全額公費での接種を実施予定である。新制度で認証保育所はどうなる
【問】 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度実施に向け、区は、都独自の認証保育所の計画について、どのような位置づけを考えているのか。
【子ども】 都は子ども・子育て支援新制度以降も、認証保育所は残していくとしているが、国から新制度の詳細が示されていないため、どのように残しているかは明確になっていない。新制度後も安定経営が行える仕組みが必要であると考えているが、国や都の動向を注視していく。

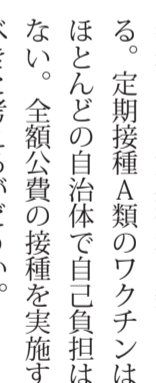
【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

供しており、開始から当面3年間はこの事業方針で実施するとしている。しかし、冬季の夜間は非常に冷え込み、周囲も暗く、昼間に変えてほしいとの声も聞く。実施に向けて現場の要望を十分に考慮し、各館で柔軟な対応を検討すべきではないか。
【地域】 冬季の夜間開催に伴う夜道と寒さによる事故の懸念がある。各館が、弾力的に昼の実施をも可能とするよう周知していく。

【問】 水ぼうそうワクチンは、予防接種法で接種の対象者または、その保護者等に接種の努力義務がある定期接種A類とされる。定期接種A類のワクチンは、ほとんどの自治体で自己負担はない。全額公費の接種を実施すべきと考えるがどうか。
【衛生】 現在、A類疾病の定期予防接種は全額助成をしている。10月より水ぼうそうワクチンが定期接種A類とされることに伴い、従来の対応に準じ、全額公費での接種を実施予定である。新制度で認証保育所はどうなる
【問】 平成27年度からの子ども・子育て支援新制度実施に向け、区は、都独自の認証保育所の計画について、どのような位置づけを考えているのか。
【子ども】 都は子ども・子育て支援新制度以降も、認証保育所は残していくとしているが、国から新制度の詳細が示されていないため、どのように残しているかは明確になっていない。新制度後も安定経営が行える仕組みが必要であると考えているが、国や都の動向を注視していく。

ごみ出しアプリの作成を！ 北部の都市整備について！

公明党 くぼた美幸 議員



産前産後の母子支援とシニア世代の活躍の場の提供を

公明党 金沢美矢子 議員

【問】 杉並区は、ごみの収集日や分別方法を表示するスマートフォンアプリの無料配信を始めた。「ごみの日カレンダー」「粗大ごみ申し込み」といった項目があり、出し忘れ防止のアプリ機能もついている。若い単身世帯等への情報提供として、アプリは有効な手法と考える。「(仮称)足立区版ごみ出しアプリ」を作成してはどうか。
また、解体されずに残る駅ビルは、将来どのようなものか。
【鉄道立体】 東西地下通路は下り急行線の高架化後に使用開始予定であり、延長約46m、有効幅員は約7mである。自転車の通行も可能とし、現在の駅舎やエレベーター付歩道橋の代替機能の確保を検討している。
駅ビルは工事中、資機材倉庫等で利用する。将来の計画はまだ決まっていないと聞いている。

【問】 既存の子育て支援の中で不足している、母子の産前産後ケア・サポート事業を組み入れる等、さらにきめ細やかな支援が必要である。安心して何でも相談でき、母子ともに心と体が休まる場所の確保は要望も多い。

【問】 産前産後の母子支援とシニア世代の活躍の場の提供を
区内だけでなく近隣区市の助産所と連携し、産後の「母子ショートステイ」「母子デイケア」等、取り組むべきかどうか。
【衛生】 産前産後に安心して心と体を休めることが必要な母子に対しては、新たな視点を取り入れた連続的で、きめの細かな

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

孤立しがちな母子に安らぎを

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提

【問】 住区de団らん事業は、月2回程度、午後5時から7時までの団らん時間と夕食の場を提